

報告者名
報告年月

宮崎県中小企業団体中央会
令和5年11月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
製造業	木材・木製品	製材業	例年ならば、伐り旬に入り、原木の出材量が増える時期であるが、今年は伸び悩んでいる。記念市等の開催で多少は回復したものの、長引く相場低迷がそれとも別な要因なのかは不明であるが、右肩上がりの増量は期待できない。製品の方も需要が伸びず、価格の回復感が乏しい状況が続いている。
	木材・木製品	製材業 (プレカット)	11月の実績は前年比8.6%と大きな落ち込みとなった。住宅市況は低迷し、その減少を非住宅でカバーすることが常態化してきている。
	木材・木製品	製材業 (プレカット)	11月は、前半低迷していたプレカット受注が回復した月となった。特に、非住宅の牛舎などが多くなり、加工坪数が増加している。
	木材・木製品	木製品製造業	原材料価格の高止まりやそれ以外の経費の増加、製品単価や請負単価の上昇難など課題が多く先が見えない状況である。
	印刷	印刷・同関連業	今月も人材確保が最優先である。募集をかけても応募がない状態だ。賃金を上げるにも限界がある。「仕事のやりがい」について理解してもらって手立てを考えている。
	印刷	印刷・同関連業	年末を迎え、売上げが上向きになった事業所もあるが、利益ベースで考えると依然として厳しい経営を強いられているようだ。原材料費の値上げも取り敢えず落ち着いたものの、それを販売価格に転嫁できていないことが利益を圧迫しているようだ。年末から年度末にかけては各事業所が利益を確保できる時期となるので、受注がこのまま上向くことを望む。
	窯業・土石製品	窯業・土石製品製造業	11月出荷数量は昨年同月比6.7%、4~11月累計出荷数量は昨年比8.7%となった。まだ大型出荷が見込める案件がなく、小規模の現場に多数対応している状況である。来年度予算を考えると、そろそろ大型物件の情報が欲しいところである。
	窯業・土石製品	窯業・土石製品製造業	昨年、一昨年在非常に低い数字で着地したため、今期が例年通りであっても非常に上伸したように感じる。昨年在7.95㎡、今期が1,945㎡と昨年対比は24.4%になるが出荷数量は例年通り程度である。
非製造業	卸売業	卸商業	インボイス制度導入による事務処理の増加を理由に、送金手数料の負担要請が増えている。送金手数料で年間100万円程利益の押し下げ要因になってくる。また、インボイス対応でコンピューターシステム変更などにも100万円以上かかった。軽減税率の恩恵は分かりにくい、弊害を実感する。税利を複雑にしただけに思われる。
	小売業	小売商業	青果物は夏場の価格上昇の反動なのか、値段もだいぶ落ち着いてきたようにある。しかし、売上げとしては、それほど利益が確保できず厳しい状況だ。飲食店相手の店は、忘年会が増えそうな気配で、今後に期待しているようだ。
	小売業	石油販売業	暖冬により、冬場の主力商品である灯油の販売が低調である。原油価格の高止まりにより石油製品の販売価格が高騰したまま、需要が停滞している。年末年始の需要を期待したい。
	小売業	LPGガス小売販売業	11月合成CP価格(サウジ通告価格)は605 $\frac{円}{トン}$ (前月比+30.0 $\frac{円}{トン}$)。10月MB価格(米国産平均価格)+物流経費84 $\frac{円}{トン}$ は439 $\frac{円}{トン}$ (前月比+29 $\frac{円}{トン}$)。対顧客電信売相場(10月平均)は150.60 $\frac{円}{立方メートル}$ (前月比+1.87 $\frac{円}{立方メートル}$)。原油価格はイスラエルとパレスチナ自治区ガザを実効支配するイスラム組織ハマスとの軍事衝突により一時は上昇したが月間を通してみると若干ではあるが下落した。LPG価格は円安の影響、また、極東地域の気温低下による需要回復への期待もあり若干上昇した。
	商店街	宮崎市	国道220号線に面した通りの人通りの数がさらに減少している。小売業への影響が大きい。
	商店街	都城市	経済活動が活発になり多くの人が出歩くようになったが、いまだに原材料の高騰がとまらず、どの店舗でも苦勞しているようだ。従業員不足もより一層深刻になっており、人件費の負担もより重みをましている。中には従業員不足と施設の老朽化が原因で店を閉めるところもある。特に街中の商店は、郊外の大規模店舗に客をもっていかれ、厳しい現状が今でも続いている。
	サービス業	観光業	久しぶりに従来の繁忙期に戻ってきた。組合員も常に体調管理を心掛けながら、朝早くから夜遅くまで働き、全ての業務をイキイキと遂行していた。
	サービス業	自動車整備業	今月は前年比10%増の入庫台数であった。組合員工場の整備士不足で、組合への依存度が増えてきている。整備士を確保するのが難しい状況が続いている。
	サービス業	自動車運転代行業	11月後半より繁華街への人が増加傾向になってきている。忘年会の声も聞こえ始めており12月に期待しているが、ドライバー不足が深刻である。
	建設業	管工事業	公共工事では本管工事は前年同期比ほぼ横ばい、下半期にかけては減少傾向であり、修繕業務等、下水道工事も減少している。資材売上では本管資材が増加、一般材が減少して、トータルでは横ばい。下半期にかけては減少傾向である。
建設業	管工事業	公共工事の工事発注に対して、材料費の高騰・人手並びに人材不足等が原因で、受注に影響を与えている。	
運輸業	軽貨物運送業	新規開業者が複数人いるが、現在のディーラーの新車の納入日数がかかり長期化しているため、途中で開業を見合わせるという人もでてきており、対応に苦慮している。最大で半年待ちとか10か月待ちが発生しており、組合員の増員に苦戦している。高齢化が深刻な折に車の納車が遅れるという二重の負担を負いながらの経営で、厳しい環境が続いている。燃料関係も高止まりのまま推移し、個人事業主にとっては、何も国からの補助金すらない現状が重荷になっているのが現状だ。打開策が見つからない厳しい環境での経営を強いられている。	
運輸業	貨物運送業	原油価格は中国の貿易収支が予想を上回り鈍化を示していることや、米国の利上げと経済減速を受け軟化傾向にあるが、イスラエルとイスラム組織「ハマス」との戦闘が続いており、原油相場に底堅さがあることや政府補助金で調整されることもあり、小幅の上昇が見込まれている。不安材料が多い中で、今後の動向がはっきり見通せないため、組合員の不安感は非常に高くなっている。	